

経営比較分析表（令和2年度決算）

青森県南部町 国民健康保険南部町医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
17,569	4,909	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

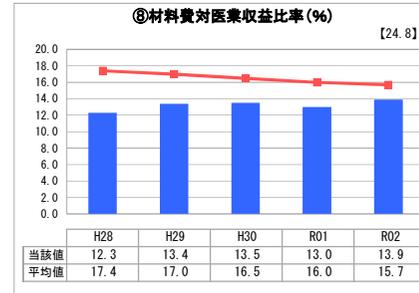
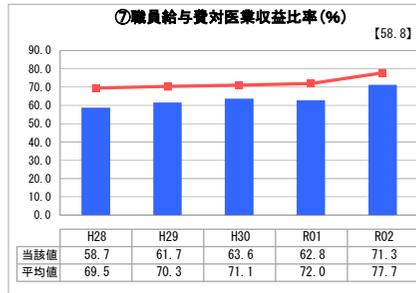
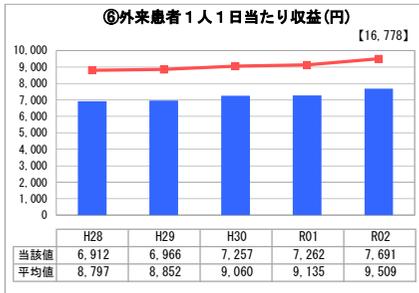
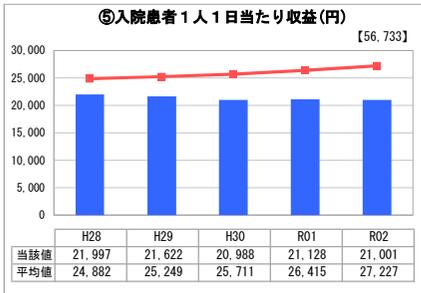
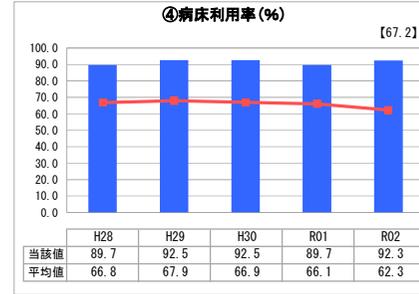
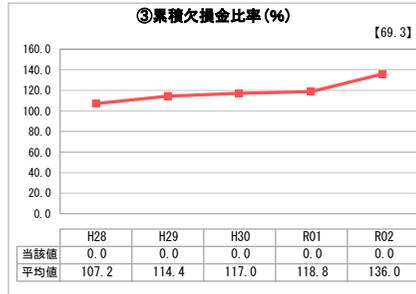
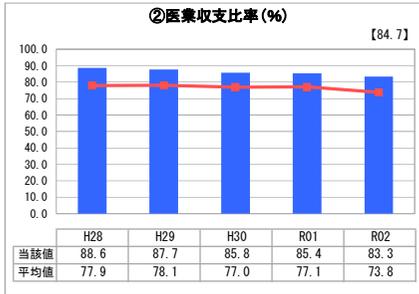
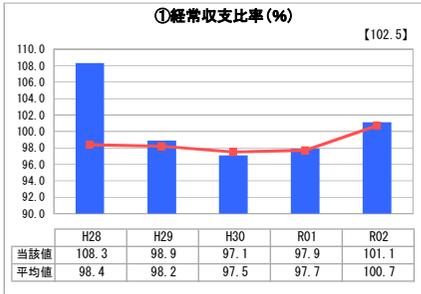
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
26	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	66
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
26	40	66

グラフ凡例

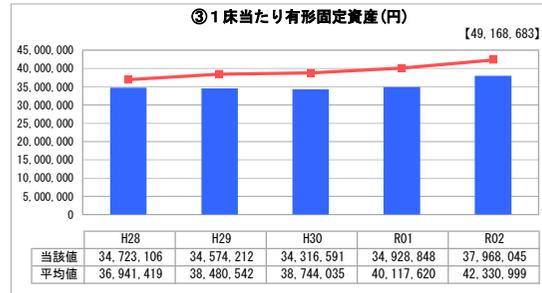
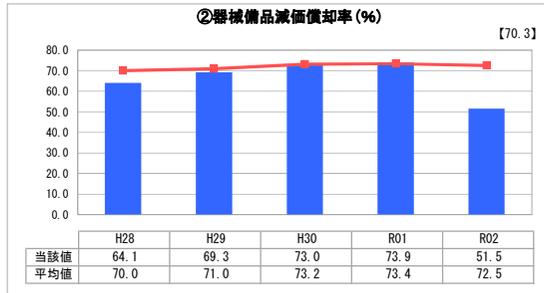
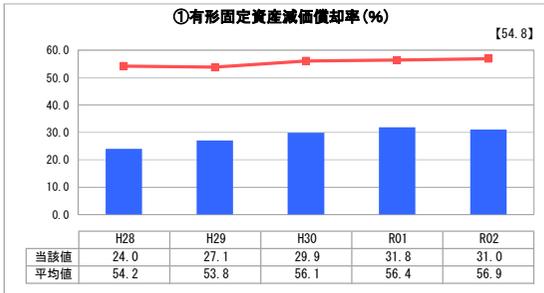
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

一次医療圏における急性期医療や慢性期医療に重点を置き、特殊医療の人工透析やリハビリテーション及び救急医療、在宅・地域医療などの医療提供を行っている。

また、不採算・特殊部門に関わる医療の提供も行い、公立病院としての役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率：類似病院平均値を上回った原因は、一般病床及び療養病床の病床利用率の増、並びに抗原・PCR検査による公衆衛生活動収益の増と考えられる。
- ② 医業収支比率：類似病院平均値を上回っており維持していく。
- ③ 累積欠損金比率：なし。
- ④ 病床利用率：R1から一般・療養病床ともに増となった。今後も八戸圏域内の病院施設等と連携し、病床利用率90%を維持していく。
- ⑤ 入院患者1人1日当たり収益：類似病院平均値よりも下回っている。これは療養病床が、一般病床より病床数が多く、病床利用率も高いことから、下回る結果となっている。
- ⑥ 外来患者1人1日当たり収益：当該年度の年齢層は高く、定期的な診察が多いため、類似病院平均値より下回っている。
- ⑦ 職員給与対医業収益比率：会計年度任用職員制度開始に伴い比率が増となった。類似病院平均値を下回っているが、全国平均を上回っているため、適正な職員配置が必須である。
- ⑧ 材料費対医業収益比率：当該の患者層を勘案すれば、妥当と考えられるため、この数値を維持していく。

2. 老朽化の状況について

平成26年度の新築移転に伴い、施設整備及び医療機器の更新を行った経緯があり、建物及び医療器械等は比較的新しい物となっている。

① 有形固定資産減価償却率
上記理由による。

② 器械備品減価償却率
耐用年数を過ぎた医療器械から、優先度を考慮し、計画的に更新していく。

③ 1床当たり有形固定資産
上記理由による

全体総括

1. 経営の健全性・効率性については、経常収支比率は100%を超えたものの、職員給与費への繰入金依存度が高くなってきていることから、八戸圏域内の病院施設等と連携し、病床利用率の増加を図るとともに、計画的な職員採用、適正な職員配置を行い、健全な病院事業運営に努める。

2. 老朽化の状況においては、器械備品について、優先度を考慮し、計画的かつ過剰にならないよう更新していく必要がある。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。